

## 今日の講義を受けて

総社南高校 1年 岡内 由光

今日の角谷さんの講義は、私が知らないことばかりでとても興味深いものでした。私は科学にあまり魅力を感じていませんでしたが、最先端科学のミュオグラフィについて学ぶにつれ、科学って面白いなと思うことができました。理解しにくいミュオグラフィについてアートで表現することで、視覚で捉えることができました。より分かりやすくなり、科学に弱い私でも魅力を感じるようになりました。これからも「ミュオグラフィアートプロジェクト」を続けて、科学が苦手な人にも魅力が伝わってほしいなと思いました。

今日の講義で心に残ったところは3つあります。

1つ目は、ミュオグラフィを使って、たくさんのが解析されていることです。ミュオグラフィとは、「宇宙から降ってくる素粒子のミュオンを使ってモノを透視する技術」と聞き、最初はよく分かりませんでした。しかし、話を聞いていくうちに、ミュオグラフィの素晴らしさに感動しました。原発に関してはもちろん、火山の内部を透過して、構造が分ったり、古墳の内部構造までも見ることができたりと、今の科学の進歩に驚きました。内部に入れなくて分からないことも、このミュオグラフィを使えば、謎が解き明かされていくので、とても興味深いなと思いました。「すごい」としか言いようのない技術だと思いました。

2つ目は、ミュオグラフィアートについてです。理解しがたいミュオグラフィの世界を、アートで表現するというアイデアがとても印象的でした。ミュオグラフィの仕組みや原理を美しい色使いで表現していて、思わず目を奪われました。見ていて楽しいし、ミュオグラフィに興味を湧くので、とてもいいなと思いました。また、1つ1つの作品に込められた作者の思いも様々で、ミュオグラフィの魅力がさらに伝わってきました。そして、ミュオグラフィに秘められた大きな可能性も感じさせられました。

3つ目は、角谷さんのお言葉です。科学者は、「感性の優れた人」、「失敗をたくさんした人」と聞いて、学力だけではないのだと思いました。私は理系を専攻することは考えていませんが、文系でも感性やたくさん失敗することは大切だと思います。自分の感覚を研ぎ澄ませ、深く心に残ったことにも耳を傾けていきたいと思います。そして、失敗を恐れず、勇気を持って行動したいと思います。失敗しても、次の成功に繋げていく粘り強さも身につけていきたいです。

今日の講義で、新たな知識を得ることができました。もしも、国際塾に参加していなかったら、ミュオグラフィについていまだに知らないと思います。また1

つ、視野が広がりました。これからも新しいこと、知らないことに興味を持っていこうと思います。